

2025 年 9 月 24 日

各 位

会 社 名 三桜工業株式会社
代 表 者 取 締 役 社 長 竹田 玄哉
(コード番号：6584 東証プライム)
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 松本 安生
総 務 本 部 長
(TEL. 03-6879-2622)

**【データセンター事業】データセンター向け空冷ソリューションの新製品
「アクティブフラップドア」を開発**
- 空調効率改善と電力コスト削減で持続可能な DC 運営に貢献 -

三桜工業株式会社（登記社名：三桜工業株式会社、以下、「当社」）は、中期経営方針にて掲げております新事業の一つであるデータセンター（以下、DC）事業において、空冷方式の課題解決に貢献する新製品「アクティブフラップドア」を開発いたしましたので、お知らせします。

1. 新製品「アクティブフラップドア」の概要と導入メリット

従来の空冷方式の DC では、サーバーの稼働状況にかかわらずサーバーラック全体に冷気が供給されるため、非稼働サーバーを通じて冷気が適切に循環せず、空調効率の低下を招くという課題がありました。

本製品は、サーバーラック背面に設置する自動開閉式のフラップドアです。サーバーの稼働状況に応じてフラップが自動で開閉することで、主に以下の効果を実現し、DC の省エネルギー化と電力コスト削減に貢献します。

- 空調効率の改善
- 冷気漏れの防止：コールドアイル（冷気供給空間）から非稼働サーバーを通じたホットアイル（排熱空間）への冷気漏れを防ぎます。
- 熱交換効率の最大化：空調機に戻る空気の温度を適正に保つことで、熱交換効率を高め、空調機の負荷を軽減します。
- ファン出力の最適化：フラップの開閉比率に応じて空調機のコイル出力を最適化し、不要な電力消費を抑制します。
- 電力消費とコストの削減：当社試算では、特定の条件下において、一ラックあたり約 240 円/日の電気コストの削減、200 ラック規模の DC では、約 1,750 万円/年の電気コストの削減効果が見込まれます。

製品画像

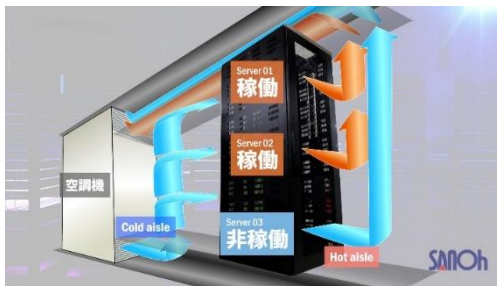


開いた状態



閉じた状態

搭載後イメージ



アクティブフラップドア搭載前



アクティブフラップドア搭載後

※本製品の制御イメージにつきましては、製品紹介動画[<https://www.youtube.com/watch?v=52-hbLA161Q>]をご覧ください。

2. 今後の事業展開と市場におけるポジショニング

DC 市場は、AI やクラウド需要の拡大に伴い世界的に急成長しており、特に電力消費の抑制が重要な課題となっています。この課題解決策として、水冷・液冷といった新たな冷却方式への移行が進む一方で、国内 DC においては導入コストや運用面の観点から依然として空冷方式が主流です。

当社は、既に展開している水冷・液冷ソリューションに加え、空冷方式向けの製品ラインアップを拡充することで、幅広い顧客ニーズに対応します。これにより、お客様の持続可能な DC 運営を支援し、当社の事業成長をさらに加速させてまいります。

3. 三桜工業の DC 事業

当社は、サーマル・ソリューション事業の拡大を重要な経営戦略の一つと位置付けています。今後も継続的な研究開発を通じて、お客様の多様なニーズに応える革新的な製品とソリューションを提供し、企業価値の向上に努めてまいります。

4. 本リリースで発表した製品のお問い合わせ先

三桜工業株式会社 新事業開発本部 冷却システム事業推進部

DC 事業専用ウェブサイト <https://thermal-solution.sanoh.com/>

以上